

2017 春闘勝利総決起集会

3月4日(土) 福島県庁前広場

労働組合の頑張りが不可欠である！

～あらゆる格差が生み出す問題に直面する中～

連合福島は、3月4日(土)の10時～福島県庁前広場において、「2017春季生活闘争勝利福島県中央総決起集会」を開催し、本格交渉の山場を前に、組織内の士気を高め奮闘を誓い合い、世論喚起を通じ未組織労働者への社会的波及をめざし氣勢をあげた。

冒頭、今泉裕連合福島会長は「国際情勢の変化から新年度の経済動向が不透明感を増している。企業業績においても、温度差・バラつきが生じている。今日の産業構造の変化、人工知能や情報化の進展など、技術革新の中で働き方の見直しに迫られている。国会では、労働時間も長時間労働是正しようとする考え方とは、違う方向で進んでおり、過労死認定に入るような時間外の限度拡大を認めるわけにはいかない。中央では、初任給引き上げの動きも



集会に参加した構成組織の皆さん

あり、大手と中小地場の格差・中央(東京)と地方(福島)の格差は、様々な問題を投げかけている。このように、今次春闘は、従来とは異なる難しさと厳しさに直面しているが、労働組合の頑張りが、組合員の生活向上に直結することは当然だが、未組織労働者はもとより、最低賃金



デモ行進で春闘の主張をアピール

全体で採択し、集会を閉じた。集会には、県内から県北地域を中心に各構成組織の役員・組合員が約1,200名集結した。集会後は、県庁前～福島駅最寄りの三角広場まで約1.2kmを街頭デモ行進し、シュプレヒコールなどで春闘の意義やスタンスをアピールした。



主催者を代表し挨拶をする今泉裕連合福島会長



春闘勝利に向け力強くガンバロー三唱

や人事院勧告につながる大きな意味を持つものと認識しながら、要求実現に向け一丸となろう。」と招集にあたっての挨拶をした。続いて、民進党福島県連・増子輝彦特別顧問、そして社民党福島県連・紺野長人代表から、連帯激励の挨拶をいただいた。さらに、構成組織からの決意表明は、①自治労福島県本部・菊地建雄中央執行委員、②電機連合福島地方協議会・八巻正一事務局長、③運輸労連福島県連合会・戸倉秀二書記長それぞれから、本番に臨むにあたっての課題や方針を力強く発信した。鈴木秀昭副会長が集会ピールを提案、